

# 目 次

## 「臨床薬理」 第44巻 第2号 2013年3月

### 原著

- AJG522の日本人健康成人における安全性および  
大腸内視鏡検査前処置に対する有効性の検討……………古家 英寿ほか… 53
- 新規DIC治療薬リコモジュリン®の安全対策  
—全例調査方式の使用成績調査を中心に—……………二橋 克仁ほか… 61

### フォーラム

- 電子的遠隔SDV(RSDV)についての成果と課題  
—試行による検証データの提示と実施後のアンケート調査—……………野村 守弘ほか… 71

### 総説

- 球形吸着炭クレメジン®の薬物相互作用……………小手川 勤ほか… 77

### 第33回 日本臨床薬理学会学術総会特集・記録

- 目次…………… 85
- 特集「PGxの成果と将来への課題を考える」…………… 87
- 「選択的セロトニン再取り込み阻害薬の臨床効果・副作用予測のためのマーカー」…………… 109
- 「臨床試験の倫理：ダブルスタンダードの解消はなるか」…………… 127
- 「日本版コンパッショネート使用制度の創設をめざして」…………… 149
- 記録「日本薬理学会・日本臨床薬理学会 共催シンポジウム：  
遺伝子・組織バンクと医療情報の電子化」…………… 171

### REPORT

- 2011年度日本臨床薬理学会海外研修員報告書—その1—……………中野和歌子……………181

- 書評……………濱 敏弘……………108

### 医薬品情報

- 医薬品・医療機器等安全性情報 No.298, 299…………… 39E

- 投稿規定…………… 43E

### おしらせ

- 第34回日本臨床薬理学会学術総会予告(2)…………… 45E
- 第16回臨床薬理専門医試験要項, 第13回認定薬剤師試験要項, 第10回認定CRC試験要項…………… 45E
- 専門医制度委員会からのお知らせ(第15回専門医試験結果, 新規指導医の公表,  
新規研修施設・新規研修関連施設の公表)…………… 52E
- 認定薬剤師制度委員会からのお知らせ(第12回認定薬剤師試験結果, 新規指導薬剤師の公表,  
新規研修施設の公表)…………… 52E
- 2013年度夏期臨床薬理学講習会 他…………… 53E

## 第33回 日本臨床薬理学会学術総会特集・記録 目次

## 特集

## 「PGx の成果と将来への課題を考える」

- 序文……………越前 宏俊ほか… 87
1. GWAS を用いた副作用リスク因子マーカーの網羅的解析……………黒瀬 光一ほか… 89
  2. 胃癌予防を見据えた *H. pylori* 除菌への PGx の応用……………古田 隆久ほか… 95
  3. 新規医薬品開発におけるゲノム情報利用の現状と課題  
—ファーマコゲノミクス関連のコンソーシアム活動を中心に—……………品川 朗…101
  4. PGx に基づく医療を普及させるための DNA サンプル長期保存の課題……………宇山 佳明…106

## 「選択的セロトニン再取り込み阻害薬の臨床効果・副作用予測のためのマーカー」

- 序文……………下田 和孝ほか…109
1. 新規抗うつ薬の臨床効果・副作用予測のための marker  
—血中カテコラミン代謝産物・BDNF 動態を中心に—……………吉村 玲児…110
  2. SSRI の薬物動態がもたらす臨床効果・副作用への影響について……………渡邊 崇ほか…114
  3. ゲノム情報による効果予測 —実臨床での可能性を考えてみる—……………加藤 正樹…117
  4. SSRI の治療反応性を決めるもの……………古郡 規雄…123

## 「臨床試験の倫理：ダブルスタンダードの解消はなるか」

1. 学術委員会研究倫理小委員会設立の背景と活動……………津谷 喜一郎…127
2. 日本の臨床研究ガバナンス—その歴史と特徴を探る……………田代 志門…131
3. 大学病院における「治験」と「臨床試験」……………小池 竜司…136
4. 臨床研究に関する倫理指針のこれまでとこれから……………森下 典子…141
5. 日本の研究倫理審査 —どこで、何について、何をベースに判断するか—……………笹栗 俊之…145

## 「日本版コンパッショネート使用制度の創設をめざして」

- 序文……………津谷喜一郎ほか…149
1. コンパッショネート使用制度の世界の現状と基本事項……………寺岡 章雄ほか…153
  2. 製薬業界としてのコンパッショネート使用制度（医薬品アクセス制度）に対する考え方……………桑原 雅明…157
  3. 医療上必要性の高い医薬品のアクセスについて……………宮田 俊男…161
  4. コンパッショネート使用制度に関する法的課題  
—適時適切なニーズ対応を可能にする法理論構成をめざして—……………磯部 哲…167

## 記録

## 「日本薬理学会・日本臨床薬理学会 共催シンポジウム」

- 遺伝子・組織バンクと医療情報の電子化」……………（座長）笹栗俊之，谷内一彦  
座長のまとめ……………笹栗 俊之ほか…171
1. 大規模臨床情報活用による Pharmacoepidemiology の実際……………西田 弥生ほか…173
  2. 被災地から最先端創薬を目指して ～東北メディカル・メガバンク機構の挑戦～……………清元 秀泰…175
  3. アカデミアにおけるヒト組織バンクのシステム構築と研究利用……………竹ノ下(中谷) 祥子ほか…177
  4. バイオバンク・医療情報データベースと生命倫理と法……………丸山 英二…179